

霧島山（新燃岳）の火山活動解説資料

福岡管区气象台
火山監視・情報センター
鹿児島地方气象台

霧島山（新燃岳）では、本日（30日）07時34分頃から火山性微動が観測され、現在も継続しています。

遠望カメラでは、08時00分頃から白色噴煙の量が増加し、火口縁上400mに達しました。

新燃岳では火口周辺に影響を及ぼす噴火が発生する可能性があることから、本日（30日）09時10分に火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）を発表し、噴火警戒レベルを1（平常）から2（火口周辺規制）に引き上げました。

新燃岳では火口周辺に影響を及ぼす噴火が発生する可能性がありますので、火口から1km程度の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要です。風下側では、降灰及び風の影響を受ける小さな噴石（火山れき）に注意が必要です。

○ 活動概況

・噴煙など表面現象の状況（図1）

新燃岳の南側約7kmに設置している遠望カメラでは、本日（30日）08時00分頃から白色噴煙の量が増加し、火口縁上400mに達しました。

・地震や微動の発生状況（図2）

本日（30日）07時34分頃から火山性微動が観測され、現在も継続しています。



図1 霧島山（新燃岳） 噴煙の状況（新燃岳の南側約7kmから撮影）
08時00分頃から白色噴煙の量が増加し、火口縁上400mに達しました。

この火山活動解説資料は福岡管区气象台ホームページ (<http://www.jma-net.go.jp/fukuoka/>) や気象庁ホームページ (<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>) でも閲覧することができます。

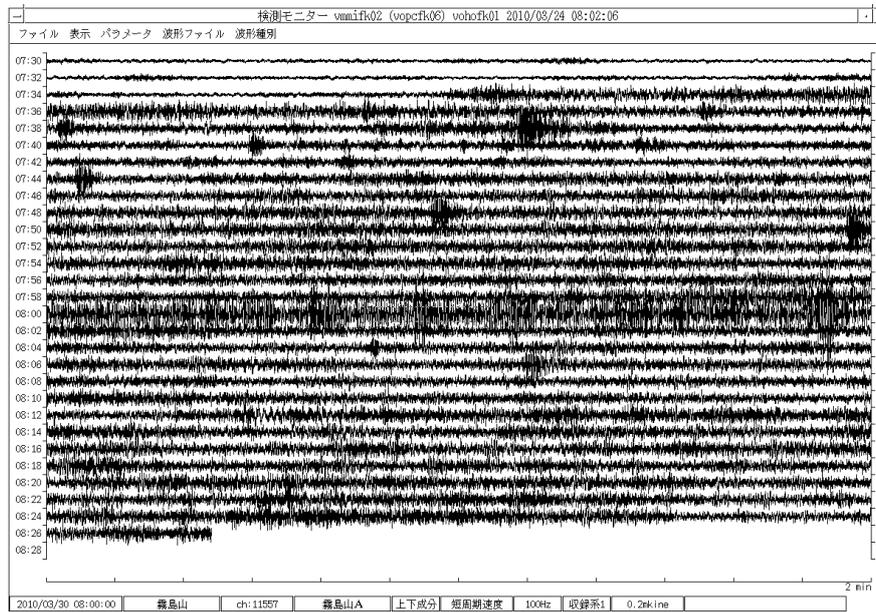


図 2 霧島山（新燃岳）火山性微動の状況（2010年3月30日07時30分～08時26分）
07時34分頃から火山性微動が観測され、現在も継続しています。